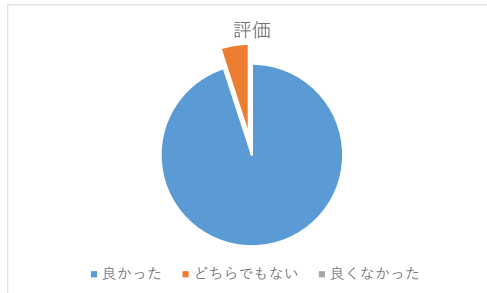


<市民公開シンポジウム集計>

QIII 【シンポジウムの評価】

- 内容 筑後川の役割について幅広い話で大変興味を持つことができた。有明海の潮流が従来通り力強く、反時計回りが復活することを願う。
- 内容 幅広い分野の専門家の話を「筑後川」をテーマに聞くことができてよかった。
- 内容 専門的過ぎず市民参加型のシンポジウムでとても良かった。
- 内容 このシンポジウムでは現状のことを伝えていますが、今後どのような対策、どのような行動をするのか、具体的な意見を伝えてほしい。
- 内容 干潟から生物、水質、川までの保全に関することを学ぶことができた。今後どのように行動していくのか期待しています。
- 内容 大変有意義な話を聞くことができました。時代と共に有明海も変化していくので、今の時点で専門の方の話しを聞く良い機会でした。
- 内容 有明海生態生物の知識が深まった。筑後川・有明海の社会的問題が判った。東よか干潟ラムサールクラブ活動が干潟存続への役割を期待する。
- 内容 有明海のことについて理解を深めることができた。
- 内容 筑後川と有明海との関係が理解できた。
- 内容・時間 興味深い内容が多かったが、各項目について発表時間が短くて残念でした。
- 内容 専門家の皆さんの貴重な話しが聞けて良かった。
- 内容 広い視点での話が聞けて良かった。
- 内容 発表内容、子供さんの発表ともに良かった。
- 内容 多方面の話を聴けて良かった。もう少し「筑後川」に特化した話を聞きたかった。
- 内容 各ジャンルの内容が盛りだくさんで面白かった。
- 内容 筑後川からの全体的な流れの話しなど良く分かりました。
- 内容 多角的な面から勉強できた。
- 内容 有明海の実態が良く分かりました。
- 内容 有明海に現状を知り、身近に感じ興味を持ってもらう機会として良かった。
- 内容 有明海の変化・環境維持についてその一端を知ることができた。
- 内容 筑後川に重点をおいて考える機会がなかったので、栄養塩・福岡への水供給問題などの講演は筑後川を知る良い勉強になった。
- 内容 様々な分野の専門家からの話を聞き知識が深まった。「筑後川の役割」に特化した発表がもっとあると良かった。
- 内容 わかりやすく、有明海に興味を持ち理解が出来る話して、「知る」ことができました。
- 内容 色々な視点で有明海の実態を見返すことができました。
- 内容 このようなシンポジウムに初めて参加しましたが、すべて興味ある話でした。今後自分でも勉強しようと思います。
- 内容 ラムサールクラブでは色々なことに取り組まれていて、話が聞けてよかった。



時間・内容 基調報告の時間がもう少し欲しかった。(各項目についてコメントあり) 【評価; どちらでもない】

時間 それぞれの項目で、もっと時間をかけて詳細な話しを聞きたかった。【評価; どちらでもない】

(コメントなし) 【評価; 良かった】 12名

QIV 【アイデアの提案】

- 干潟状況確認のためホバークラフトによるクルージング、密漁監視体制の強化、漁具回収の義務付け、有明海潮流の変換（水路による外海との交流）検討。「ラムサール東よかカード」作成・協賛企業の参加。
- 有明海の自然環境悪化の原因追及（合成洗剤・農薬・除草剤など）。自然環境の大切さを一般の人々にもわかるような活動。
- 子供・高校生・一般人への「有明海の大切さ」心を養う気づきの学習。合成洗剤・農薬・除草剤等による有明海の生き物への影響調査。
- 東よか干潟の魅力を知ってもらうための「楽しめるイベント」企画。
- 四季を通じて楽しめる企画。
- 「干潟ツアー」の企画・県内外に向けての発信。クラウドファンディングの活用。Youtubeによる発信。
- ゴミ対策。プラスチックゴミ対策（生分解プラスチック。）
- 干潟体験の企画。気軽にゴミ拾いが出来るためのゴミ袋の設置。
- 若い世代への「二枚貝・有明海苔」の美味しさ体験会の企画。
- 野鳥による食害を少なくする方法検討。
- 海岸清掃の意義、ゴミを出さない意識改革の拡大。
- 「山は海の恋人」「海の民は山に木を植える言い伝え」「山の腐葉土が皮を流れ海の生き物が豊かに」「フルボ酸」鉄の効果。
- ゴミ問題・海岸清掃の継続。二枚貝・海苔不作問題検討・対策は国・自治体を巻き込んだりの取り組みが必要。
- 筑後川を含む有明海流入河川全体の取り組み・活動が必要。

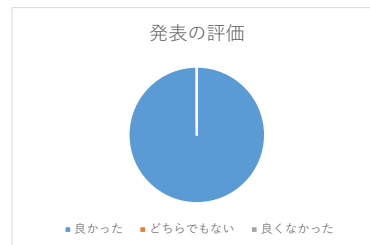
QV 【シンポジウムの感想・意見】

- ラムサールクラブの活動「郷土料理」は興味深かった、子供たちの発表の場をもっと多くの県民に広げて欲しい。
- トビハゼとムツゴロウの話し、詳しく分かり易い説明だった。
- 東よか干潟ボランティアガイドの一員として、説明の材料の幅が広がった。
- 楽しかった。
- 次回も期待しています。
- 参加出来て良かった。美味しい海苔・有明海の味を楽しみたい。10年～20年先を狙い資金・手間をかけた教育を期待しています。
- 普段知ることが出来ない知識・各々の専門家からの濃密な話が良かった。ラムサールクラブの発表・パネルディスカッションも良かった。
- このような機会を通して多くに方々に有明海を知ってもらうことは大切であり、様々な課題に多くに人が向き合い取り組むことは重要。
- 講師の発表時間が短くて気の毒だった。
- 各発表者の持ち時間が少し短かった。
- 運営 解り易い話だったが、会場にもっと大きなスクリーンを常設したらよいと思う。
- 広報 講演のデータをHP等で公開してほしい。
- 多くの方が集まって、関心の高さや日頃の取り組みを感じた。
- 九州に住む人間として「有明海の現状」を少しでも感じられて良かった。
- 佐賀大の学生ですが、少しでも地域の人々の力になれるような研究に取り組もうと思った。
- 広報 もう少し若者にも聴きに来てほしい。
- とても充実した内容だったのでまた開催した欲しい。六角川周辺に住んでいるので六角川についてももっと知りたい。
- 運営 東と賀農村改善センターの場所・会場ともに利用し易い所だった。予期せぬ友人と出会い広報の広がりを感じた。
- 時間 時間的にちょっと慌たしかなかった、じっくりと説明を聴きたかった。
- 時間 発表者の持ち時間は均一でなくともよかったのでは？。短い人・少し長めの人があっても良いのでは。
- 時間 筑後大塚の課題について関心を持った。
- 広報 このようなシンポジウムや講座には佐賀TVを入れるような宣伝・働きかけが必要と思った。
- よそ者・若者など素人が気付き、老人・現場には知恵があり活用すること。海苔だけでなく貝の復活を、複合的要因の究明は必要。
- 人間の都合で環境が変化し様々な形で人間の生活に影響している、開発を目的とした工事は見直し環境保全に配慮した開発を行うべき。
- 全体的に水産業の現在は厳しくなり、ノリなどの佐賀の特色ある水産物が危機にあることを、人ごとでなく自分ごととして活動したい。
- 運営 基調報告④～⑥への質問が出来ませんでした。
- シンポジウムの中身はとても興味深く、市民へのPRをもっと積極的にやって欲しい。佐賀県のPRには「有明海・干潟」がKeyと思う。

<ラムサールクラブ集計>

Q I 【ラムサールクラブ活動成果発表の評価】

こうした活動をもっと大事にしたいと思った
それぞれの班が気付いたことを課題として「自分たちにできること」を提言している点が良かったです。
中学生と小学生と一緒に活動している点も協力して活動している感じが出て良かったです。
干潟の生物をつかった料理は興味深い取り組みでした。
活動の内容が手に取るようによく伝わってきた。また発表もよかったです。
クラブ員の活動が手に取るように伝わってきた。発表は良かった。上手でした。
この子どもさん達は海の大切さについて、どのように学び心を養って活動しているのかな…とも考えながら聞かせていただきました。
異なる小中学校の子どもたちが干潟を通じて出会い、同じ活動を行っていることに、感銘を受けました。調査内容も、想像していたより有意義で、とても興味深かったです。自分が彼らくらいの頃にはSDG sなんて知りませんでしたので、子どもの頃から触れていることは、とても良い影響を与えていると思いました。
指導者のしっかりした指導がなされているなど思った。小中学校いっしょに取り組んでるのがいい。
分かりやすかった。
子ども達の活動。
環境保全の取り組み、ワイズユース（干潟の恵みを食す）などに積極的に取り組んでいて感心した。
異なる学校の生徒が興味あるテーマのもと集まって活動されているのがいいなと思いました。実際に自分たちの目で見ると調べる活動は素晴らしいと思います。
未来を託せる子どもがいることに感動。手書きで一生懸命資料を作っているのがすごい。ごみの個数を数えグラフにしたの特にすごい！
「SDG s 1 2 つくる責任 つかう責任」を貴重な資源で作った料理を残さず食べると言い換えたのは、若い柔軟な頭脳ならではのと思いました。
SDG s をふまえて発表している点が、社会を取り込んでいると感じられてよかったです。
子どもがごみに対して大きな興味を持っていることがわかった。
有明海の魚介類を食べる機会がめっきり無いので、ちゃんと食べることは重要だと思った。
活動内容が充実していてとても良い取り組みだった。
子どものうちから現場で体験することが大事だと思います。
1校に限らず各学校が集まっての発表は素晴らしい。
真剣に活動していることに感動しました。見習います。
若い人が関心を持っていることが未来を明るくする。
関心のない人が問題で、その人達にどうやって関心を持たせるかが課題。
それぞれがテーマに沿った活動をし、成果を発表しており、課外活動としてがんばっていたと思う。
コロナ禍で制約が多かったと思います。その中でしっかりとまとめあげており、素晴らしい発表でした。
最初の興味から、自分たちにできること、他に働きかけることなどまで、自分に引きつけた発表ができてよかったです。
小学生～中学生の異なった学年の組み合わせで、工夫されていた。



Q III 【ラムサールクラブに取組んでほしいこと（その他）】

東よか干潟のことをもっと広く、多くの人に知ってもらうためにどのようなことができるのか。
流入河川・堀の今と昔。生き物の変遷。

Q IV 【今後の東よか干潟ラムサールクラブに期待すること】

大人も含めてできるだけ多くの参加者があればいいなと思いました。
子どもたちの取り組みに感心しました。広がりに期待します。
ごみ拾いで活動されるのもよいが、ごみを捨てないことの大切さ等学ぶことも大切だと思う。
なぜ海は大切なのか！水質、ごみに至るまで、なぜ大切なのか学んでほしい。
ゴミを拾う活動も大切だが、ごみを捨てないことの大切さ、心を養う学習で気づきを学ぶことも大切。
子どもたちが干潟を通じて活動をし、社会的な問題を知ること、また、干潟を大切に思う子どもたちが増えることは、子どもたちだけでなく社会全体に良い影響を与えていると思います。今後も引き続き、楽しく干潟と向き合っていたらと思います。
いろんな場面で発表してほしい。
多くの生物にふれること、見ること。
継続は力なり。
東よか干潟のすばらしさを広く紹介してほしい。
みなさんが自分達の目で見ると調べたことをもっと多くの人に発信してください。うちの近くにも干潟があるので行ってみたいと思いました。活動ががんばってください。
大人の固い頭でできない発想。
干潟の歴史等の知見を、多くの佐賀県民に広めてほしい。
継続して、拡大（市内の子ども）
干潟に興味をもつ小・中学生が増えることは重要だと思うので、いろいろな地区で同様のクラブが生まれればいいと思う。
継続して学んでほしい。
佐賀平野の成り立ち（干拓）から、干潟が年々発達していくことなど。
干潟の環境保全のためにすべきことを子どもの視点から考えてほしい。
湿地のみならず、流入する河川（六角川、嘉瀬川、筑後川）や、クリークの歴史（東与賀町史からの学び）、人との関係や生き物の変遷について、取り上げてほしい。
今後どうぞ継続してください。